

平成18年10月2日 第12号

発行：東京二十三区清掃一部事務組合

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋三丁目5番1号

TEL 03-6238-0615 FAX 03-6238-0620

東京二十三区清掃一部事務組合は、
循環型社会の形成を目指しています。

<http://tokyo23.seisou.or.jp>

清掃一組管理者 高橋久二 品川区長が逝去されました

高橋久二管理者が病氣療養中のところ、平成18年8月21日逝去されました。高橋管理者は、平成17年5月に就任以来、清掃一組の抜本的な改革や今後の23区における廃棄物の中間処理の方向付けに精力的に取り組み、尽力をされました。心からご冥福をお祈りいたします。

新管理者には、9月15日付けで西野善雄大田区長が就任いたしました。

中防灰溶融施設は試運転を実施しています

中防灰溶融施設建設工事の概要

中防灰溶融施設建設工事は、主灰・飛灰の混合灰を溶融してスラグ化する灰溶融施設を新設するものです。

公害防止基準の遵守はもとより可能な限り緑化を取り入れた「周辺環境に調和した施設」、場内雨水利用や太陽光発電・風力発電の採用等による「資源エネルギーの有効利用」を特徴とした施設の建設を目指しています。

- 1 工事期間 : 平成15年6月27日～
18年12月15日(42か月)
- 2 工事請負者：三菱・銭高・池田建設共同企業体
- 3 建築工事 : 新築
 - ・施設棟 地下1階、地上6階、高さ約42m
 - ・煙突 高さ約80m
- 4 プラント工事
 - ・灰溶融炉 電気加熱式(プラズマ式溶融炉)
 - ・処理能力 400トン/日
(100トン/日・炉×4基)

中防灰溶融施設は清掃工場を併設しない灰溶融専門の施設として、世界最大級のもので、当組合所管の全清掃工場等から排出される主灰及び飛灰の約1/3を処理する施設となります。

工事の進捗状況



▲南側から見た中防灰溶融施設外観

平成15年9月から始まった現地工事は、仮設事務所設置などの準備工事、既存第二排水処理場他の解体、山留め・杭工事、掘削工事、地下く体工事、地上く体・仕上げ工事、プラント機器の製作・据付工事と進み、平成18年6月から試運転を開始しました。

建築工事関係では、所轄消防署による防火・防煙構造や電気設備、消火栓設備、自動火災報知設備等の完了検査が平成18年5月18日に終了しました。また、東京都建築指導課による建築物の仮使用検査、煙突・エレベータの完了検査、建築物の仮使用検査を終了し、7月3日より、中防処理施設管理事務所が東京都環境局中防合同庁舎から新装となった施設棟内の管理諸室に入居し、業務を開始しました。

工事現場事務所の引越しを6月9日～11日にかけて行い、その跡地に条例の規定による緑地及び駐車場、門・フェンスを設置し、8月8日に建築指導課による完成検査を終了しました。

プラント工事関係では、平成17年2月1日より現地工事に着手し、平成18年3月27日から需要設備の使用前自主検査を開始して、4月29日に特高受電作業をすべて終了しました。6月21日からは灰の搬入を開始し、7月8日より灰溶融炉の負荷運転を開始しました。需要設備の安全管理審査については、5月29日に終了しています。労働基準監督署による各クレーンの完成検査は6月29日に終了しています。

平成18年8月末現在の累計出来高は、建築工事は100%、プラント工事は約99%で、試運転を残すのみとなっています。

また、中防処理施設管理事務所は、中防不燃ごみ処理センター、粗大ごみ破碎処理施設、破碎ごみ処理施設などの施設稼動に必要な電気を、環境局特高受変電所から受電していましたが、灰溶融施設完成後は、施設棟内の特高受変電設備から電気を受けることになります。

試運転期間中のシステム調整・性能試験等

今後は、施設の安定稼動、円滑な引継ぎに向け、主として次のことを実施して行きます。

第一は、灰溶融炉等の設置した機器の試運転です。

6月21日からの灰搬入に引き続き、灰溶融

炉の乾燥焼き等を行い、電気計装設備の作動確認、インターロック試験を行ってきましたが、7月8日からは順次灰溶融炉を立上げ、溶融負荷運転並びにシステム調整等を行っています。

第二は、性能を確認するための各種検査の受検です。

9月4日から23日にかけて予備性能試験を行いました。また、10



▲上部から見た灰溶融炉

月25日には、性能試験を行い、施設全体としての性能及び機能を確認します。

第三は、職員及び運転要員の教育訓練です。

6月22日から中防処理施設管理事務所の溶融処理係職員を対象に建築設備・プラント設備等の机上教育訓練が始まりました。最新技術を導入した設備の教育訓練プログラムが約1か月間実施されました。

今後は、運転要員を対象とした運転実習訓練が11月20日から約1か月間実施されます。

竣工は、平成18年12月15日ですが、引き続き安全に留意して試運転調整を進めるとともに、監督員と中防処理施設管理事務所職員が一丸となって、効率的で、信頼性の高い施設を建設してまいります。

中防灰溶融施設清掃一組議会視察

8月17日の午後、清掃一組議会による中防灰溶融施設の視察が行われました。

はじめに高柳議長から、当施設の竣工により焼却灰の全量スラグ化が実現され、循環型社会づくりに更なる貢献ができることを期待している、とのごあいさつがありました。

続いて、佐藤副管理者から、



▲高柳議長のごあいさつ

当施設は清掃一組の全工場から発生する焼却灰の3分の1を処理する大規模なもので、全量溶融処理の計画に大きな役割を果たすものであり、本年12月の竣工に向けて、工事が順調

に進んでいることを報告いたしました。

現場の視察に先立ち、中防処理施設管理事務所については柳井所長から、中防灰溶融施設の工事経過については前嶋建設課長から、それぞれ概要説明がありました。

その後、施設内の中央制御室、前処理設備、灰溶融炉、主灰受入バンカ、クレーン操作



▲灰溶融炉の視察風景

室、プラットホームを視察され、さらに、中防不燃ごみ処理センターと中防粗大ごみ処理施設についても視察されました。視察中には各議員と説明担当者との間で熱心に質疑応答が行われ、視察は午後4時に終了いたしました。